

「水引」の装飾品 手応え十分

飯田の業者ら開発 銀座で初披露



水引を使った装飾品を品定めする人たち＝東京・銀座

飯田下伊那地方の伝統工芸の業者4社と飯田商工会議所が協力して開発した装飾品

が14日、東京の銀座で披露された。冠婚など定番の需要以外に水引の販路を広げようと、デザイナーや化粧品会社のポーラ（東京）と連携して新製品約40種を作り上げた。期間限定の販売も同日始まり、大勢の人が買い求めた。

製品は、いずれも4社の水引職人の手作り。価格帯は、羽の形に加工した3千円台のピアスから、水引を繊細に編み上げた7万円弱のバッグまでさまざま。淡い色調の水引をレース状に仕上げたネックレスなど個性的な商品をそろえた。

販売するポーラの店舗「ポーラザビュティー銀座店」で同日夕に開いたパーティーには、招待客ら150人以上が出席。デザインを担当したデザイナーの加藤尚子さん（東京）は「世界一流ブランドの店が並ぶ銀座で

も、引けを取らない商品ができた」と自負を込めて話した。

販売は10月10日まで。「飯田水引プロジェクト」と銘打って、開発に取り組んできた

代表の唐沢秀宣さん（59）＝飯田市＝は「価値を認めてくれる人がどれだけいるか。この販売で見極め、幾つかの作品は本格販売につなげたい」と期待していた。